

第25期 事業のご報告

2009年3月1日～2010年2月28日



Q1 第25期の業績概要についてお聞かせ下さい

A 当社は、昨年から続く厳しい経済環境のもと、第25期において国内500店舗、売上高1,000億円という節目の数字を達成することができました。また、ABCマートグループ全体としても、国内75店舗の新規出店を行ったほか、子会社が展開する韓国で16店舗、台湾で1店舗と、海外においても積極的な新規出店を行いました。販売政策では、アパレル業界における急速なファストファッション化によって、お客様の品質と価格のバランスに対する関心が今まで以上に高まってきています。このような消費トレンドのなか、当社も現在の消費環境に合った低価格戦略を継続的に進め、見極めの厳しいお客様の購買意欲喚起と新規顧客層の獲得に注力いたしました。特に、ここ数年間売上構成比を大きく伸ばしているレディースシューズにおいても、低価格戦略の推進と同時に、商品企画力とマーケティング力の向上により新規顧客層を確実に広げております。その結果、積極的な新規出店をしながらも既存店売上も昨年比プラスで終えることができました。さらに、連結売上高は前期比16.6%増の1,135億7百万円、営業利益は19.6%増の241億86百万円、経常利益は30.4%増の255億68百万円、純利益は30.5%増の144億73百万円となり、第25期も2桁成長を達成することができました。

Q2 昨年取り組んだ戦略とその成果についてお聞かせ下さい

A 商品戦略につきましては、国内の消費低迷を背景に春先からヒールスニーカーの廉価帯商品を展開し好調に推移したことを受け、下期からは戦略的価格帯商品「リアル・レザー」シリーズを本格的に展開し、より商品価値に対してリーズナブルな商品展開に注力いたしました。その結果、新規顧客層の獲得も含め前年を大きく上回る客数増加につながりました。また、レディース強化戦略の一環として下期から展開した「美脚計画」は、ファッション性と履き心地を重視したインヒールブーツを中心に女性の新規顧客獲得につながり、今期レディースカテゴリーの売上構成比も大きく伸ばいたしました。出店戦略につきましては、展開アイテム数の増加に伴い、既存店舗の増床やリニューアルを行ったほか、より幅広いお客様をターゲットとした総合レディース専門店「NUOVO by ABC-MART」の出店を行い、更なる「NUOVO」ブランドの認知度向上に努めました。そのほか海外事業につきましては、韓国随一の繁華街となる明洞（ミョンドン）エリアに出店した大型旗艦店「明洞中央店」をはじめ、今期16店の新規出店を行いました。「ABC-MART」は若者を中心に年々高い支持を集めており、スニーカーを中心に順調に売上を伸ばしておりますが、今以上に幅広い年齢層の顧客獲得に向け、日本と同様にレディースカテゴリーやレザーカジュアルカテゴリーの強化を図っております。海外事業2ヶ国目となる台湾におきましては、昨年10月にオープンした台北市西門（シーメン）エリアの1号店に続き、今年2月にはファッション感度の高い顧客層が集まる台北市敦化（ダウンファ）エリアに2店舗目を出店いたしました。こちらも韓国同様、若者を中心に高い支持を得ており、順調に推移しております。

▶台湾第一号店



Q3 今期の戦略についてお聞かせ下さい

A 今期も引き続き戦略的廉価帯商品の拡充を進めてまいります。ただ「安い」ではなく、より多くのお客様に「商品価値以上にリーズナブルである」という付加価値を提供できるような商品開発に注力いたします。さらに、今期の成長戦略の大きな柱として、レディースカテゴリーの更なる強化を進めてまいります。現在、当社の国内レディースマーケットシェアは約4%と、まだまだ大きな拡大余地があると考えております。そこで今期は更なるレディース専門店「NUOVO by ABC-MART」の積極出店に加え、大きな販促と連動したブランディング戦略とアイテム拡充を進めてまいります。出店戦略につきましても、来期も引き続き積極的な出店を行ってまいります。都心や地方主要都市部につきましては大型路面店の出店、地方郊外におきましてはロードサイド形態の出店を積極的に行ってまいります。一方、既存店におきましては、売上の伸びが見込める施設では、積極的な増床・リニューアルを進めてまいります。そのほか、当社の強みである「接客販売」を活かし、今期は昨年以上にライフスタイルに合わせた商品提案の枠を広げ、アウトドアアパレルやスポーツウェア、機能性インナーなど靴以外のニーズにも対応できる商品展開に挑戦いたします。また、海外事業につきましては、現在事業展開を行っている韓国・台湾での店舗運営ノウハウをより高めていき、アジア地域での更なる展開を目指してまいります。

Q4 株主・投資家の皆様へのメッセージをお願いします

A 今後もABCマートグループは継続的に成長を遂げるために、まずは中期経営計画で発表している国内720店舗、連結売上高1,500億円を目指して今後も新たな挑戦をし続けてまいります。そして、国内シューズマーケットのさらなるシェア拡大を常に目指し、国内1,000店舗体制に向けた社内基盤の整備と海外事業の拡大に注力し、これまで以上に株主、投資家の皆様のご期待にお応えできるよう全社一丸となってまい進してまいりたいと考えております。今後とも、株主、投資家の皆様には、より一層のご理解とご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

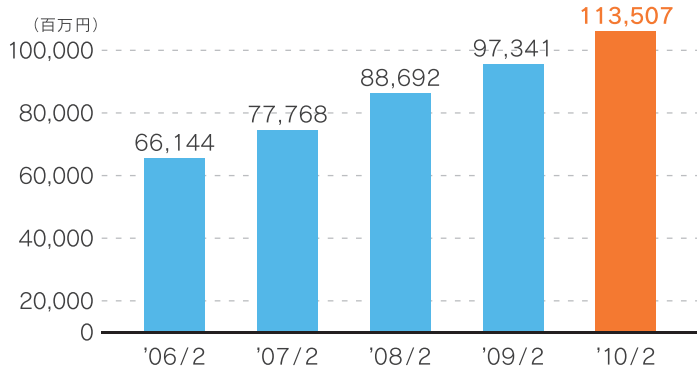
代表取締役社長
野口 実



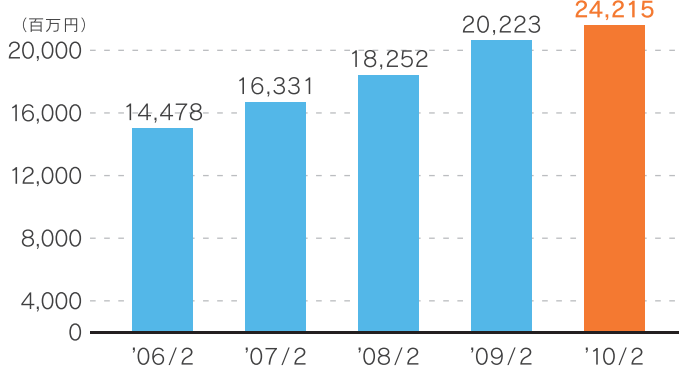
連結業績ハイライト

HIGHLIGHT

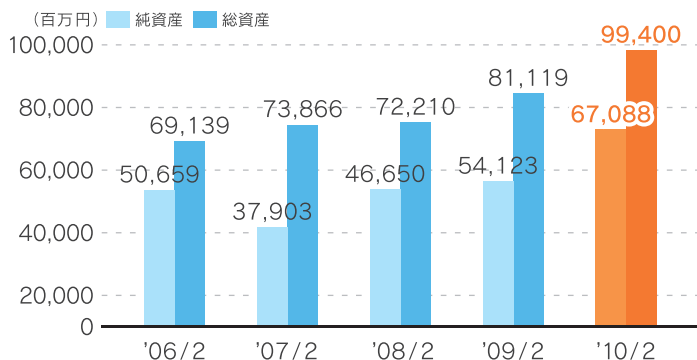
売上高



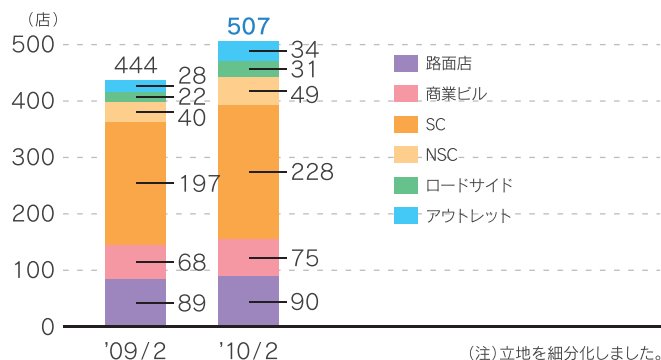
営業利益



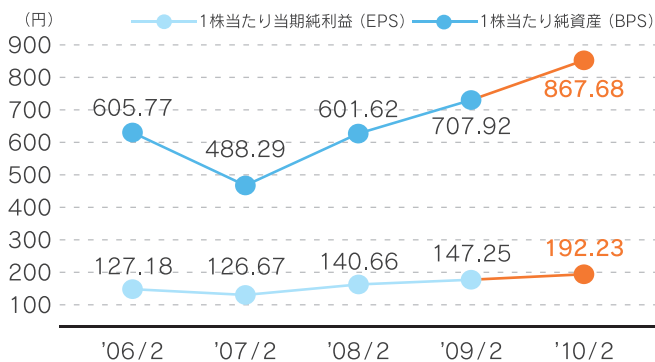
純資産・総資産



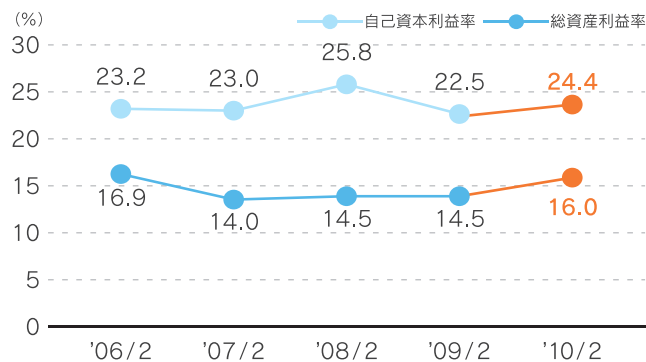
国内店舗数の推移 (業態別)



1株当たり当期純利益 (EPS)・1株当たり純資産 (BPS)



自己資本利益率 (ROE)・総資産利益率 (ROA)



連結貸借対照表

(単位:百万円)	当連結会計年度末 2010年2月28日 現在	前連結会計年度末 2009年2月28日 現在	増減
資産の部			
流動資産	48,131	40,384	7,746
現金及び預金	24,604	21,654	2,950
受取手形及び売掛金	1,971	1,553	417
商品	17,959	14,428	3,531
繰延税金資産	938	715	222
その他	2,659	2,034	624
貸倒引当金	△0	△0	△0
固定資産	51,268	40,734	10,533
有形固定資産	28,771	27,599	1,172
建物及び構築物	8,029	7,755	274
土地	19,443	17,202	2,241
その他	1,298	2,641	△1,343
無形固定資産	801	808	△6
投資その他の資産	21,695	12,326	9,368
敷金保証金	12,964	10,939	2,024
関係会社株式	7,409	—	7,409
その他	1,321	1,387	△65
貸倒引当金	—	—	—
資産合計	99,400	81,119	18,280

(単位:百万円)	当連結会計年度末 2010年2月28日 現在	前連結会計年度末 2009年2月28日 現在	増減
負債及び純資産の部			
流動負債	26,869	26,606	263
支払手形及び買掛金	7,714	8,900	△1,186
短期借入金	8,311	8,685	△373
未払法人税等	6,447	4,747	1,699
賞与引当金	469	425	43
その他	3,926	3,846	79
固定負債	5,442	390	5,051
負債合計	32,311	26,996	5,314
株主資本	65,798	53,810	11,988
資本金	3,482	3,482	—
資本剰余金	7,488	7,488	—
利益剰余金	77,146	65,157	11,989
自己株式	△22,319	△22,318	—
評価・換算差額等	△467	△507	39
少数株主持分	1,757	820	937
純資産合計	67,088	54,123	12,965
負債・純資産合計	99,400	81,119	18,280

ポイント解説

● 連結貸借対照表関係

資産合計は前期比22.5%増加しております。

*この主な増加要因は、現金及び預金が29億50百万円、商品で35億46百万円増加したことによるものです。

*また、株式会社ユニテッドアローズの株式取得により関係会社株式が74億9百万円増加しております。

● 連結損益計算書関係

*当期の連結売上総利益率は、前年同期より0.9ポイント上昇し、57.0%となりました。これは、おもに自社商品比率が向上したことによるものです。

*販管費は、前年同期で13.8%の増加となりました。広告宣伝費は、テレビCMや新聞掲載などマス媒体をメインとした効率的な販促活動を行ったことにより、売上高構成比では前期比0.4ポイント減の4.3%となっております。

人件費は計画を超える新規出店数でしたが、年間を通じて中途採用抑制のコントロールを行い、売上高構成比は前期比0.1ポイント減の12.6%となりました。

*韓国子会社ABC-MART KOREAの業績につきましては、若者を中心にブランドスニーカーを買う場所としての認知度が上がったことにより大幅な増収増益となりました。WONベースでの売上高は前期比39.1%増、営業利益は前期比17.8%増、経常利益も為替評価益により大きく改善し約15倍となりました。また、円ベースでの売上高もWON高に振れたことにより、前期比51.0%増の105億29百万円、営業利益は前期比27.8%増の16億20百万円、経常利益は前期比約16倍の19億14百万円となりました。

*当社の個別事業については、売上高は営業収入を含め1,033億71百万円(前期比14.2%増)、営業利益は222億87百万円(前期比19.5%増)、経常利益は229億67百万円(前期比19.5%増)となりました。

連結損益計算書

(単位:百万円)	当連結会計年度末	前連結会計年度末	増減
	自 2009年3月1日 至 2010年2月28日	自 2008年3月1日 至 2009年2月28日	
売上高	113,507	97,341	16,166
売上原価	49,030	42,667	6,363
売上総利益	64,476	54,673	9,802
販売費及び一般管理費	40,290	34,449	5,840
広告宣伝費	4,870	4,466	403
人件費	14,071	12,058	2,013
地代家賃	10,465	8,631	1,834
減価償却費	1,928	1,543	385
その他	8,954	7,750	1,203
営業利益	24,186	20,223	3,962
営業外収益	1,793	785	1,008
営業外費用	411	1,398	△987
経常利益	25,568	19,610	5,958
特別利益	350	154	195
特別損失	357	278	78
税金等調整前当期純利益	25,561	19,486	6,075
法人税、住民税及び事業税	10,619	8,659	1,960
法人税等調整額	△210	△273	63
少数株主利益	679	13	665
当期純利益	14,473	11,087	3,386

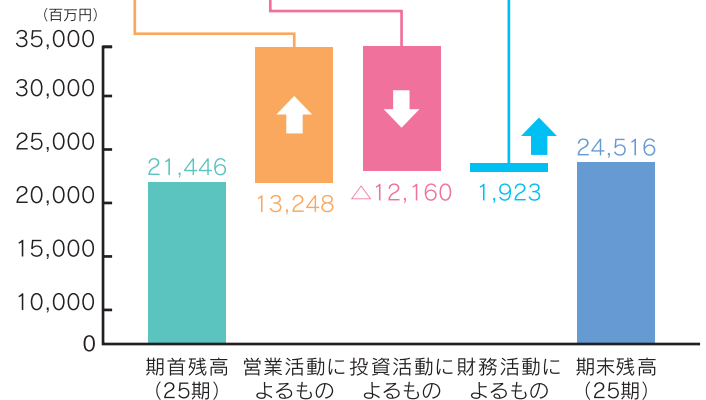
連結キャッシュ・フロー推移グラフ

●主な増減要因

■ 税金等調整前当期純利益	25,561
■ たな卸資産増加	△3,035
■ 法人税等支払	△9,080

■ 有形固定資産取得	△5,232
■ 関係会社株式の取得	△6,832
■ 敷金保証金差入	△2,175

■ 長期借入による収入	5,000
■ 配当金支払	△2,484



※上記のキャッシュ・フロー区分のほかに、現金及び現金同等物に係る換算差額58百万円がありますが、グラフの記載は省略しております。

連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度 (自2009年3月1日 至2010年2月28日) (単位:百万円)

	株主資本					評価・換算差額等			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計		
2009年2月28日残高	3,482	7,488	65,157	△22,318	53,810	40	△548	△507	820	54,123
連結会計年度中の変動額										
剰余金の配当	—	—	△2,484	—	△2,484	—	—	—	—	△2,484
当期純利益	—	—	14,473	—	14,473	—	—	—	—	14,473
自己株式の取得	—	—	—	△0	△0	—	—	—	—	△0
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額 (純額)	—	—	—	—	—	△23	74	39	937	977
連結会計年度中の変動額合計	—	—	11,989	△0	11,988	△23	74	39	937	12,965
2010年2月28日残高	3,482	7,488	77,146	△22,319	65,798	17	△473	△467	1,757	67,088

発行可能株式総数	334,500,000株
発行済株式総数	83,627,318株
自己株式数	8,332,889株
単元株式数	100株
株主数	4,588名

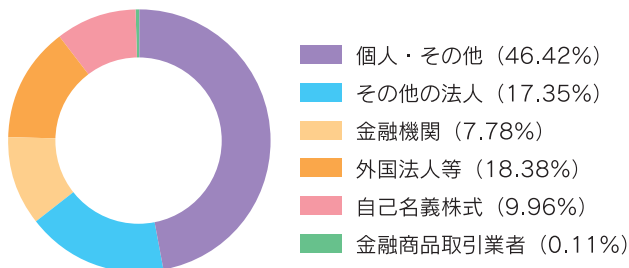
※平成22年3月15日開催の当社取締役会決議に基づき、平成22年3月31日付で自己株式8,332,889株を消去いたしました。

大株主

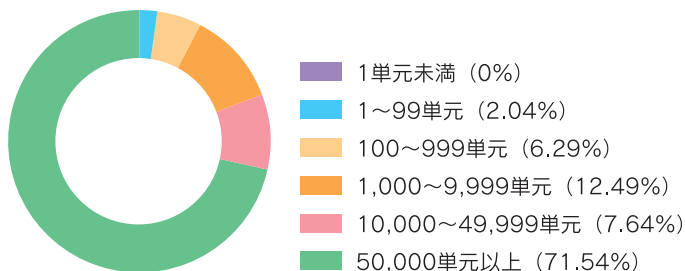
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三木 正浩	24,480	29.27
株式会社イーエム・プランニング	14,428	17.25
三木 美智子	12,584	15.05
ザチエースマンハッタンバンクエヌエイ ロンドンエスエルオムニバスアカウント	2,331	2.79
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,049	2.45
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,006	2.40
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシー リフィアリティファンズ	970	1.16
ハイアット	960	1.15
資産管理サービス信託銀行株式会社(年金特金口)	718	0.86
ミレニアム	546	0.65

(注) 持株比率は、小数点第3位を四捨五入しております。

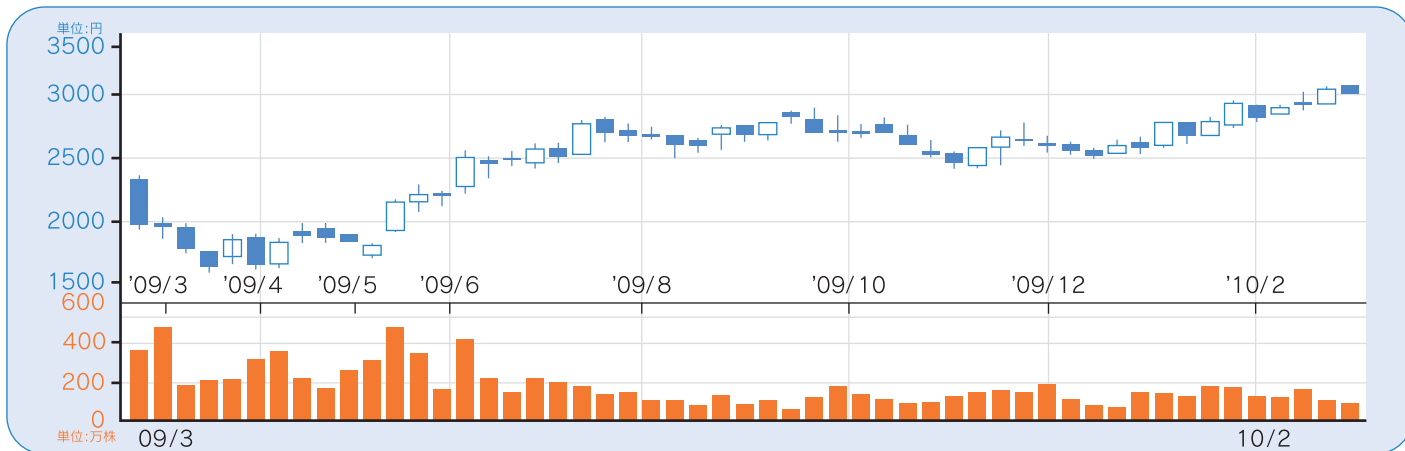
●所有者別株式分布状況



●所有株式数別株式分布状況



●株価チャート・出来高推移グラフ



会社の概要

社名	株式会社エーピーシー・マート
本店所在地	東京都渋谷区神南一丁目11番5号（登記上の住所）
設立	1985年6月6日
資本金	34億8,293万円
従業員数	4,318名（アルバイト2,239名）
事業内容	靴・衣料・雑貨などの小売 靴の商品企画および輸入販売 各種ブランドのライセンス事業
事業所	[本社] 東京都渋谷区 [店舗] 北海道18、東北26、関東232、中部62、関西67、 中国・四国31、九州・沖縄71 計507店舗
取引銀行	みずほ銀行/三菱東京UFJ銀行 三井住友銀行/りそな銀行
主な関連会社	ABC-MART KOREA, INC.
URL	http://www.abc-mart.com

役員

代表取締役社長	野口 実
専務取締役	中尾 徹
常務取締役	吉田 幸枝
取締役	金城 正宏
取締役	勝沼 清
取締役	小島 穰
取締役	菊池 孝
監査役（常勤）	秋元 英夫
監査役	林 豊
監査役	上原 敬三

お知らせ

●株主優待

毎年2月末日現在の株主および
実質株主に対し、優待券を年1回、
以下の基準により贈呈いたします。



贈呈基準 / 所有株式数100株(1単元)以上300株未満保有の株主様に対し、
3,000円(1,000円割引券3枚)、300株以上保有の株主様に対し、
5,000円(1,000円割引券5枚)の当社優待券を贈呈いたします。

利用方法 / お買物金額(税込) 5,000円毎に1枚ご使用いただけます。1回のお買物につき、最大5枚まで使用可。ただし、他の割引券等との併用はできません。

有効期限 / 翌年2月末日まで有効

取扱店舗 / 「ABC-MART」、「GALLOP」、「NUOVO」、「コルソナボレオーネ」、「HAWKINS」、「VANS」各アウトレットおよび「WORLD SPORTS PLAZA」の国内における全店舗

●ABC-MARTのネット通販

アクセスは
www.abc-mart.netへ!
(24時間OPEN)



●IRサイトのご案内

投資家の皆様に正確な情報を迅速にご提供し、当社の現況や将来のビジョンをご理解いただくために、IRサイトを開設しています。連結業績や決算資料のみならず、当社の成長戦略についてもご覧いただけます。



URL:<http://www.abc-mart.com>
の「>企業・IR」から

株主メモ

事業年度	3月1日～翌年2月末日
期末配当金受領株主 確定日	2月末日
中間配当金受領株主 確定日	8月31日
単元株式数	100株
定時株主総会	毎年5月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL / 0120-232-711 (通話料無料) URL / http://www.tr.mufg.jp/daikou/
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第1部 (証券コード 2670)
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL / http://www.abc-mart.com (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

【ご注意】

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株主に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社エービーシー・マート

〒150-0043

東京都渋谷区道玄坂一丁目12番1号 渋谷マークシティ ウエスト19階

TEL:03-3476-5452 / FAX:03-3476-5462

<http://www.abc-mart.com>